

小学校 5 年

資料から必要な情報を整理し、まとめよう

松原市立松原北小学校

教科

社会

単元名

食生活を支える食料の産地

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

A-STEP3, C-STEP3
G-STEP3, D-STEP3

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

・食料の産地について資料や本を活用し調べてまとめることで、食料生産と日本の地形が関係していることに気づくとともに、自分たちの食べている食料に興味や疑問をもつことができる。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

・得た情報をまとめることで、その傾向に気づくことができる。
・必要に応じて資料を選別し、活用することができる。

単元における学習の展開（全3時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	・食料の産地にどのような特徴があるのかという学習課題を確認する。 ・白地図にチラシや本などで調べた産地を書き出し、特徴に気づくことができる。☆ ・まとめたものを全体交流することで、自分の言葉で振り返ることができる。(本時)
第2次 (1時間)	・チラシ等だけでは不足していた情報を本で調べ、産地の広がりを確認する。☆ ・グラフやキーワードから、日本の食料生産への興味をもち、様々な考えをもつ。 ・食料生産についての考えを共有することで、今後調べていきたいことの見通しをもつことができる。
第3次 (1時間)	・食料生産について、新聞にまとめる。☆ (大単元を通して、1つの新聞が出来上がるように設定する。) ・新聞を読み合い、感想を伝えあう。

本時のねらい

白地図に産地をまとめる活動を通して、自分たちの食べている食料の産地を知り、その特徴に気づくことができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	★学校図書等の活用により期待される効果 (言語能力育成のためのポイント) ●指導上の留意点等
導入 (5分)	1. 食料に目を向ける。 →給食の写真を見て、どんな食材が使われているかを確認する。 →自分たちの食べている食料がどこから運ばれてきているのかを予想する。 めあて：食料の産地を調べ、その特徴に気づこう。	●指導者が間違った産地を言うことで、産地に着目させる。 【しかけ：仮定する】
展開 (30分)	2. 食料の産地を調べる。 →スーパーのチラシの産地を白地図に書き込む。 ・食料の種類で分担する等、班で協力して取り組む。 →白地図からわかることや気づいたことを話し合う。 ・一人学び→班で交流→画用紙にまとめる ・種類によって作られているところがある程度決まっていることや、どの地域でも作られているもの、外国産が多いものなどに気づく。 →全体で交流する。	★自分自身で調べることを明確にし、資料を探すことで、目的をもって主体的に取り組ませる。 ●種類ごとに色を分けさせ、産地の特徴に気づかせる。 ●一人学びの時間を設定し、考えを整理させる。 ●話し合うポイントを提示し、一人ひとりの考えから学びが深まるようにさせる。 ●共通点、相違点に着目して、交流内容を明確にさせる。 ●振り返る内容を提示し、聞く視点を確認させる。 ●交流した内容を掲示し、振り返りを書かせる。
まとめ (10分)	3. 振り返る。 →全体交流から学んだことを自分の言葉でまとめる。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・産地調べを行う際、「野菜担当」等の役割分担を行うことで、意欲的に取り組むことができた。
・食材のおおまかな種類ごとに色分けを行うことで、特徴に着目しやすくなるができた。
・一人学びの時間を十分に設定することで、後の話し合い活動で自分の意見をもち、発言することができた。
・肉類の産地が「国内産」のものが多いため、本を活用することで、肉類の主な産地を調べることができた。
・新聞づくりをする際、前時までにはまとめたことを提示することで、振り返りながらまとめることができた。
・「共通点と相違点」について、相違点がなかなか見つからない様子であった。「共通点」のみとし、他に話題に上がったことを書くよう指示する方が、全体交流につながると感じた。
・振り返りの時間を十分にとることができなかった。調べ学習の段階で、話し合いの視点やポイントを伝えておくと、児童の思考がスムーズにいくと感じた。



一人学びで気づいたことを書き出し、交流をした後、共通点について班で共有し、まとめているところ